



日本糖尿病教育・看護学会
Japan Academy of Diabetes Education and Nursing

日本糖尿病教育・看護学会
JADEN e-learning システム構築
寄付金募集趣意書

一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会

理事長 稲垣美智子

ご挨拶

謹啓 時下、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本学会の活動に際しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

糖尿病患者数は増加の一途をたどり、少子高齢化、医療費の増大が深刻化する中、糖尿病重症化予防対策は国家的課題として取り組まれており、糖尿病教育・看護に携わる医療職者の役割も益々重要となっていると言えます。

本学会は1996年に設立され、現在は会員数が2600名を超える組織に成長し、糖尿病教育・看護の質向上に向け、毎年約3000名が参加する学術集会、糖尿病重症化予防（フットケア）研修をはじめとした研修会の全国各地での開催、日本糖尿病療養指導士を中心とした糖尿病療養支援ネットワークづくりなど様々な活動を行ってまいりました。

しかし、糖尿病予備軍も含めた糖尿病患者数が1千万人と推計される現状に対応できる糖尿病教育・看護に携わる人材育成はまだ十分とは言えません。また、地域包括ケアが推進される中で、地域との連携・協力を重視した医療のあり方を検討していくためには、訪問看護、一般内科クリニック、保健・福祉部門など、これまで以上に幅広い分野の人々に糖尿病教育・看護に関する知識・技術の普及が必要であると考えます。

さらに、本学会が親学会の一つである日本糖尿病療養指導士認定機構では、糖尿病療養指導士の資格更新率が低く、その一因として更新に必要な研修の単位取得が時間的・距離的問題から困難であることがあげられており、看護職の単位認定を行っている当学会としての対応が課題となっている現状もあります。

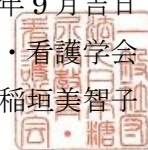
こうした実情から、時間や場所を限定することなく、糖尿病教育・看護に関する知識を得ることが出来るe-learningシステムの構築を日本糖尿病教育・看護学会として取り組むことは喫緊の重要課題として検討を重ねてまいりました。また、他とは異なった本学会が持つe-learningの特徴についても検討し、2017年に本学会で打ち出した5ヵ年重点目標の「糖尿病対策を担う人材育成と活用」を基盤にしたe-learningの構築が重要であるとの考えに至りました。

しかし、e-learningシステム構築にかかる費用を学会単独で捻出できるだけの資金が不足しているのが実情です。また、開設してすぐに維持費を含む費用を補填できるだけの受講者を獲得することも難しいことが予測されます。

つきましては、本学会としてのe-learningシステム構築の趣旨および学会の実情をご理解いただき、作成および受講生の獲得に要する期間に必要な費用の支援を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

2018年9月吉日
一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会
理事長 稲垣美智子



JADEN e-learning の概要

1. 目的

「糖尿病対策を担う人材育成と活用」を基盤にした e-learning 構築により、時間・場所を制限することなく、糖尿病教育・看護に関する知識を、幅広い分野の人々に提供することを目指す。

2. 予測される効果

これまで遠方のため学術集会や研修会への参加が困難だった人を含め、多くの会員・非会員の糖尿病教育・看護に関する知識獲得の利便性が高まる。

糖尿病教育・看護に関する知識へのアクセスの利便性が高まることで、これまで以上に幅広い糖尿病教育・看護に携わる医療職者（訪問看護、一般内科クリニックなど）、保健・福祉部門などへの知識提供が可能となる。

日本糖尿病療養指導士の看護師が e-learning を活用することで、更新単位の取得が容易となり、糖尿病療養指導士資格の更新率が向上し、本制度の継続・発展に貢献できる。

広範囲の糖尿病教育・看護に関する知識提供が可能となり、実践で活用され評価されることにより、新たな知の創造の可能性が高まり、糖尿病教育・看護の質向上につながる。

3. e-learning の内容

e-learning は、①学会が策定した「糖尿病教育・看護の核となる機能」の内容、②これまで学会として蓄積し、現在も行っている研修の e-learning 化、③糖尿病教育・看護のフロンティア の三本柱でコンテンツを作成する。2017年に打ち出した5ヵ年計画の最終年度である2021年までに以下の内容を作成することを計画している。

①学会が策定した「糖尿病教育・看護の核となる機能」の内容

糖尿病教育・看護の核となる5つの機能を概説するコンテンツを作成し（45分）、その後、事例に基づいて核となる5つの機能を説明し、糖尿病教育・看護の基本を解説するコンテンツを3本作成（45分/1本）する。（取り上げる事例は、インスリン治療を受けている・受ける高齢者、多疾患を合併している患者への支援、妊娠糖尿病患者の継続的な支援など）

②これまで学会として蓄積し、現在行っている研修内容の e-learning 化

現在本学会が主催で開催している「糖尿病透析予防支援研修」「糖尿病重症化予防（フットケア）研修」「高齢糖尿病患者ケア研修」の e-learning 化を行う。それぞれの研修で45分の講義を6本、計18本を作成する。コンテンツ化はすでにテキストが出版されている「糖尿病透析予防支援研修」から進める。

③糖尿病教育・看護のフロンティア

日本糖尿病教育・看護学会学術集会会長を務めた方など糖尿病教育・看護を開拓し、先頭を行く、フロンティアの方々の講演の内容をコンテンツ化する。1人45分で8人分を作成する。年間2本 4年間で8本の作成を計画している。

4. コンテンツの作成スケジュール

本学会 5 カ年計画の最終年度である 2021 年までにコンテンツを下記スケジュールで計画しており、合計 30 本作成を予定。

年度	2018	2019	2020	2021	計
①学会が策定した「糖尿病教育・看護の核となる機能」	2 本	2 本	0	0	4 本
②これまで学会として蓄積している研修内容の e-learning 化	6 本	6 本	6 本	0	18 本
③糖尿病教育・看護のフロンティア	2 本	2 本	2 本	2 本	8 本
計	10 本	10 本	8 本	2 本	30 本

5. コンテンツのボリュームと構成

45 分を 1 コンテンツ (0.5 単位) とし、日本糖尿病療養指導士の更新単位としての認定も行うため、講義+最後テスト (4 択問題 5 問) を含む 45 分 を基本とする。

6. 価格設定

1 コンテンツ (テストを含む 45 分) で 2000 円~4000 円を予定 (費用算定では、3000 円案を用いている)。

7. 費用概算

必要経緯費 年間視聴者が 600 人と想定した場合の支出は 4 年間で 1840 万円がみこまれるが、年間視聴者が 600 人で 2 コンテンツを視聴したと想定した場合の収入は $600 \text{ 人} \times 3000 \text{ 円} \times 2 \text{ 回} \times 4 \text{ 年} = 864 \text{ 万円}$ となり、約 1 千万円の不足となる。4 年後に向けては視聴者数を拡大し、黒字化を目指す。構築に向けての費用を学会で捻出するのが困難な状況である。

コース開発費	40 万円
年間維持費 (4 年分)	480 万円 (120 万円 \times 4 年)
コンテンツ作成費	1200 万円 (40 万円 \times 30 本)
運営諸経費	120 万円 (30 万円 \times 4 年)
合計	1840 万円

寄付金募集要項

1) 寄付の名称

一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会

2) 寄付金目標額

10,000,000 円

3) 寄付金の使途

糖尿病教育・看護に関する知識普及のための e-learning システムの構築

4) 寄付金額

下記の通りです。いずれも 1 口以上のご寄附をお願いします。

(1) 企業・団体・医療法人など 1 口 50 万円

*公開を希望されない場合を除き原則として企業、団体、施設名を本学会ホームページで公開いたします。

(2) 個人 1 口 1 万円

(日本糖尿病教育・看護学会の役員等は 3 口以上をお願いいたします)

*公開を希望されない場合を除き原則として個人名を本学会ホームページで公開いたします。

5) 募集期間

2018 年 9 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

6) 寄付金申込及び振込方法

別紙の寄付申込書に記載の上、一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会事務局までメール (g015jaden-mng@ml.gakkai.ne.jp) でご連絡ください。

寄付金のお振り込みは下記口座へお願いいたします。

振込口座：みずほ銀行大塚支店 普通預金 2196561

シヤ) ニホントウニヨウビヨウキョウイクカンゴツカイ

名 義：一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会

7) 問い合わせ先

寄付についての問い合わせは下記へお願いいたします。

一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会事務局

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 1-24-1-4F

株式会社ガリレオ 学会業務情報化センター内

TEL: 03-5981-9824 FAX: 03-5981-9852

E-mail: g015jaden-mng@ml.gakkai.ne.jp

寄付申込書

一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会
理事長 稲垣美智子 殿

日本糖尿病教育・看護学会における糖尿病教育・看護に関する知識普及のための e-learning システムの構築に賛同し、下記の通り寄付を致します。

_____円

1) 企業・団体、医療法人 (_____) 口 (1 口 50 万円)

2) 個人 (_____) 口 (1 口 1 万円)

(日本糖尿病教育・看護学会の役員等は3口以上をお願いいたします)

企業・団体、医療法人名	
担当者名 個人の場合は寄付者名	
住所	〒
TEL	
e-mail	
送金予定日	年 月 日
領収書	要 ・ 不要
本学会ホームページ への掲載	掲載名： _____ <input type="checkbox"/> 掲載は希望しない